

「つづける」ことは、「はじめる」よりも難しい？ミュージアムを「つづける」とはどのようなことか。

日本のミュージアム数は2008年度までは毎年増加していましたが、その後、減少傾向に
転じました。また1999年以降の市町村合併による館数の減少や廃館もありました。

我々はこれまで、ミュージアム数は増え続けるという前向きで直線的な発想で

眺めていました。しかし近年、無限の数的成長や技術の進歩が続くというのは

思い込みであったことがわかってきました。可視的に設定された

ミュージアムの前進ではなく、不可視な姿で実感される

ミュージアムの原点や目的を大切に

する経営とは何かを、

現場の学芸員の

視点とともに

考えます。

ミュージアムを「つづける」ということ

+plus Museum Program
クロージングシンポジウム

 参加者募集中 

開催情報

日時 2025年2月2日(日)

13時～17時

会場 札幌市北区北8条西5丁目

北海道大学 学術交流会館 小講堂

※zoomによるオンライン配信を併用

お申し込み方法

参加無料、事前のお申し込みが必要です。

締切は2025年1月31日(金)13時です。

QRコードより申込フォームへとお進みください。

お問い合わせ先

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目

北海道大学文学研究院内

「プラス・ミュージアム・プログラム」事務局

Mail: plusm@let.hokudai.ac.jp TEL: 011-706-3017

パネリスト

山口 一樹

(夕張市教育委員会
学芸員・社会教育主事)

神田 いずみ

(岩見沢郷土科学館 学芸員)

渋谷 美月

(北海道博物館 学芸員、北海道大学大学院
環境科学院環境起学専攻 博士後期課程)

角川 咲江

(東近江市文化スポーツ部博物館構想推進課
参事、西堀榮三郎記念探検の殿堂館長)

コーディネータ

佐々木 亨(北海道大学文学研究院 特任教授)

コメンテータ

今村 信隆(北海道大学文学研究院 准教授)

